

1 生田緑地内施設間の連携の現状

生田緑地内4施設での連携の現状を整理した。

■ 生田緑地内各施設間の連携

施設	施設利用に伴う料金面での連携			企画・イベント等の連携		
	共通利用券 (利用者負担軽減の一環として発行) ※共通利用券は、かつては市民ミュージアムも参加していたが、令和4年度の直営化のタイミングで共通利用は廃止	生田緑地スタンプラリー (生田緑地内の回遊性等)	藤子・F・不二雄ミュージアムの半券等の窓口提示による、その他各館の観覧料・入館料の割引制度など	2館以上の同日見学による駐車場の割引制度 半券提示による観覧料等割引制度	「お月見フェスタ」	— 「七夕イベント、 「お月見トーク」等
岡本太郎美術館						—
日本民家園						—
青少年科学館						—
藤子・F・不二雄ミュージアム	—	—	—	—	—	—

現状の連携内容について考えられる検討の方向性

- 割引制度の利用率に関する分析による効果的な誘客につながる割引設定の検討
- ソフト的連携取組のタイアップによるイベント集客の傾向と分析（類似イベントの単独実施との比較等）

内容の検討に当たって踏まえるべきポイント

生田緑地内他施設や、高等教育機関、教育委員会関係機関など、様々な主体との共創・連携を通じた、地域の魅力向上への貢献

2 現時点での生田緑地内施設と連携した新たな取組

今後、連携内容等については検討、調整していくが、生田緑地他館と連携した新たな取組として、市民ミュージアムが中心となり、令和6年6月から本庁舎205会議室（約75㎡）（名称「Museum+205」（仮））の活用及び調整・検討を開始。

■ 現時点の本庁舎205会議室での活動・検討案

- ・市民ミュージアム：被災収蔵品レスキュー活動報告展（実施済）、写真コンクールセレクション展示会等
- ・岡本太郎美術館：ポスター、ティーカップ等の展示
- ・日本民家園：機織り、竹細工、わら細工、藍染め作品等の展示
- ・青少年科学館：オーロラ写真展（実施中）、出張プラネタリウム、天文系企画展等



本庁舎205会議室での展示風景（市民ミュージアム公式Xより：実施済）



オーロラ写真展

（参考）段階ごとの事業（案）（「【資料2】新たなミュージアムのコミュニケーション事業について」から生田緑地に関係する部分を抜粋）

開館まで

4. 市内の学校や他文化施設（博物館、図書館・市民館等）とのネットワークの拡大及び各所でWSや講座を実施
5. 生田緑地他館と連携した新たなプログラムの開発
6. 生田緑地のイベント（マルシェなど）での屋外プログラムの実施（アート制作、史跡散策など）
9. 文化観光など、所管局の枠を超えた事業へのチャレンジ

OPEN

開館以後5年程度

4. 拠点で行う企画展等と連動したまちなかでのイベント実施。拠点のPR。
5. 生田緑地内他館や周辺大学、商店街等と連携したエリア全体の文化観光事業の実施